

# 大津JC

[滋賀]

## 「LOMのベストサポーター」OB会 よき理解者として市の発展に協力

わがまち大津は、雄大なびわ湖と緑豊かな自然の恵みに育まれ、発展してまいりました。この日本一のびわ湖のほとり、南西に位置する大津市は、大津京が置かれた地であり、また、世界文化遺産の比叡山延暦寺をはじめ、紫式部が源氏物語を書いたといわれる石山寺、そして園城寺など数々の文化財が点在し、坂本城、大津城、膳所城といった古城跡や、比良、比叡の山々など、自然と文化に恵まれたまちであります。

### 大津

市は、明治31年10月1日に市制を施行して以来、今年で108年を迎えます。市制施行以降、数度の合併を繰り返して、本年3月20日には、隣接の志賀町と合併し、現在人口32万3713人、面積374.06平方キロを有し、現在は中核市としての申請中であり、近畿の中核都市として発展してまいりました。

そんな大津市の発展とともに、大津JCは昭和28年(1953年)に設立され、現在、現役員74名で活躍しています。今年度は

「繁げよう！ JAYCEE魂

創ろう！ 新しい絆」

をスローガンに、第53代理事長として、滋賀ブロック内では初めての女性理事長である饗場貴子君を中心に日々大

津のまちづくりに邁進しています。

また、大津市と志賀町の合併により、1LOM1行政区となり、ますます官民協働の連携が深まり、より一層の活躍が期待されています。

そんな中、大津青年会議所OB会は、現在、会員数389名を数え、現役メンバーの活動を側面より物心両面にて支えるよきサポーターとして支援し、かつ、会員相互の親睦を目的としています。

具体的に現役のサポートとしては、総会・例会への参加や講師などを派遣。OB会独自の活動としては、総会、役員会、そして姉妹JCのソウル瑞草JC OB会の「特友会」との定期交流会などを開催しています。また、ゴル

フコンペや意見交換会など会員相互の親睦を深める事業を行っています。

経済情勢が上向きになりつつある中、また全国でも数少ない人口増加傾向にある「まち」として、まだまだ発展していく可能性を秘めた大津市にあつて、大津JCの活動するフィールドは、ますます広がり、また、その期待はますます高まることと思えます。

われわれOB会は、JC活動のよき理解者として、大津市の発展のためにも、協力していきたいと考えています。

### 大津青年会議所OB会

幹事長 山本勝義



例会事業へ参加



現役総会へ参加



新年会